

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	楽しみのある地域づくり
事業主体 (連絡先)	ふれあい会 下水内郡栄村大字北信 3273-1 会長 栗原千恵
事業区分	(3) 教育・文化の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	468,413円 (うち支援金: 362,000円)

事業内容

- 1 伝統工芸及び郷土料理の伝承と実習
 - ・令和2年度は計10回実施。
 - 【伝統工芸】
人形飾り、刺し子、作務衣・甚平、ざるぼぼの作成
 - 【郷土料理】
エゴマぼたもち、雑穀ビラ、そば煎餅の調理実習
- 2 文化祭、公民館行事への出品
村文化期間中に、作成した工芸品を展示
- 3 公共的施設への寄贈
手作りマスクを県長寿社会開発センター等へ寄贈
ざるぼぼを交通安全協会へ寄贈



【機器の納入指導の様子】

【目標・ねらい】

- ①伝統工芸・料理の継承
- ②地域全体の協働
- ③自分たちも楽しむ

事業効果

- ①公民館の収納庫に保管してもらい、自宅からの運搬等個人の負担が少なくなった。
 - ②昨年度からの計画以来、若手(62才、66才)2名の加入があり、若干の若返りができた。
 - ③男性が2名(準会員)加入した。
- ※年配者も新しい機能や機器に対して積極的に取り組み、新作づくりの目標ができた。

※自己評価【B】

【理由】

- ・予定していた「皞月飾りとちまきづくり」ができなかった。
- ・他地区の人や若い世代が新たに入会した。
- ・高齢者でも新型の機器に向かう意欲と積極性が出ていた。

今後の取り組み

- ・令和3年度は定期開催日を毎月第2木曜日とし、ちまきやあんぼ、そばなどの郷土食の研究及び実習を行っていく予定です。また、本年度に元気づくり支援金の補助をいただき整備したミシンなどの裁縫器具を活用し、はんでんや正月飾り、ひな人形づくりなども行っていきます。
- ・当会の活動が村内外に広く浸透していくよう、村及び栄村社協、公民館等と連携しながら、文化祭等への出品・展示、講習会などの催事を行って行きます。
- ・マスク着用・手指消毒・検温など、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底して活動を進めていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある